



NEWSLETTER

EXAMINATION | 新潟県最後の「特色化選抜」の志願状況が発表されました！

募集を行う学校・学科	学校数	学科数	募集人数
スポーツ活動	20 (21)	7 (8)	117 (121)
文化活動	6 (1)	7 (1)	18 (18)
科学分野の活動	4 (0)	9 (26)	306 (320)
合計	30 (22)	23 (35)	461 (565)

志願者があった学校・学科	学校数	学科数	志願人数
スポーツ活動	18 (18)	20 (21)	146 (148)
文化活動	3 (0)	3 (0)	26 (26)
科学分野の活動	1 (1)	2 (1)	114 (121)
合計	22 (20)	25 (27)	386 (495)

2月3日、新潟県教育委員会は同ホームページにおいて令和8年度公立高校選抜試験の「特色化選抜」の志願状況を発表しました。今年で最後の年となるこの「特色化選抜」とは、スポーツ活動・文化活動・科学分野などで優秀な実績を修めた生徒を対象に、面接試験と内申点のみで選考が行われるもので、いわゆる「推薦入試」の位置づけの選考です。

令和8年度の「特色化選抜」の志願状況は、26校33学科306人の募集に対し、22校25学科184人が志願し、約0.6倍の倍率となっています。

令和9年度以降はこの「特色化選抜」が廃止され、公立高校を受験する全ての生徒が学力検査を受験することとなり、今まで以上の学力重視の傾向が強まることになりそうです。

ABILITY+ | 「量感」を鍛える。

計器を使わずにある量の大きさの見当をつけたり、ある単位で示された量が実際の物でどれくらい大きくなるかの見当をつけたりする感覚を「量感」といいます。

この量感が豊かであると、問題を解く場合に長さや角度などをおよそどれくらいであるかを見通しを持って問題に取り組むことができますし、自身の回答を図などに見比べ、その確からしさを評価することができるようになります。

では「量感」を鍛えるためにはどうすれば良いのか。学校現場では『体験活動』を重視した授業に力を入れています。数や量を自分の体で感じ、感覚を掴んでいく。「量」が具体化された物を見たり、触ったりする機会がとても大切です。

図では鋭角なのに回答用紙に120°と書いてしまわぬように「量感」を養っていきましょう。

INFO | SOUのスタンプカード誕生！

毎日、塾生の皆さんと一緒に学習をしていると、その頑張り本当に感心させられたり、励まされることがたくさんです！

そんな皆さんの頑張り何か目に見える形にしたいな～と思い、「頑張り」に応じてスタンプが押されていくSOUオリジナルのスタンプカードを作成しました！

例えば「LINEで宿題を何回も提出した！」「学校帰りに自習に来た！」など、皆さんの頑張りを変えて行きます。25個のスタンプが貯まったら、一緒に「お祝」をしましょ～！



QUESTION | 中学入試や高校入試でもおなじみ。

本当に苦手なお子さんが多いのが、この手の面積を求める問題なんです。必要な知識は、小学校で学習する基本的な図形の面積の求め方だけなんですけど、これがとっても難しいんですよ。ちょうど平面図形が定期テストの範囲だった中学1年生の皆さんは、きっと苦しめられたはず、、、。

ポイントは、葉っぱの形をしている部分を「どこかに移動してあげる」こと。小学生も中学生も挑戦できる問題なので、頑張ってトライしてみてください！

【2スタンプ贈呈】

